

令和２年３月２日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）学校におけるＩＣＴの推進について

本県の県立中学校、高等学校、特別支援学校におけるＩＣＴの推進について、必要性をどのように認識しているのか、また、高等学校や特別支援学校を卒業する段階で、生徒がどの程度のスキルを身に付けていることを期待し、そのためにどのように取り組んでいこうとしているのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

新学習指導要領では、社会で生きていくために必要な資質・能力を育むためには、学校の生活や学習においても、日常的にＩＣＴを活用できる環境を整備していくことが不可欠であると言われております。

本県では、「学びの変革」アクション・プランに基づき、生徒の主体的な学びを促す探究活動等を推進しており、これからの変化の激しい社会を生き抜くことができる資質・能力を育成する上で、ＩＣＴの効果的な活用は極めて重要であると認識しております。

また、高等学校や特別支援学校高等部の卒業段階におきましては、探究活動等を通して、学びの変革が目指す資質・能力を身に付けてくれることを期待しております。

そのため、教育委員会といたしましては、探究的な活動の充実にこれまで以上に取り組む必要があると考えており、教員が単元を貫く本質的な「問い」を設定し、生徒に本質的な問いの解決のために情報を収集・整理・分析・表現できる情報活用能力を身に付けさせるよう授業力の向上に取り組んでまいります。